

■男女共生教育・実践事例集 1 : 生き方と労働

対象	中学2年生（職業体験学習で「労働について」の授業を終えていることが前提）
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・日本社会は子育て中の、特に女性が働くことは難しい現状がある。けれども少子化に伴い、働ける年代の者みんなが働く時代がもうすぐ来る。だからこそ、性別にとらわれない生き方・働き方をする社会人を育成することを目的として、男女共生教育の授業を計画した。 ・まず、事前に意識調査をし、その結果から女子と男子の考え方のちがいを知り、M字曲線の問題点やジェンダー意識について日本の現状を抑えたい。そして最後に「自分の班が内閣だったら」どんな政策をするか話し合いをすることで、これからの社会に目を向けて考える姿勢を身につけたい。
指導時数	2時間
計画	<p>事前の準備：意識調査 対象となる学年に意識調査を行い、集計する</p> <p>第1時：問題提起〔性別にとらわれない生き方、働き方を考えよう〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「労働について」振り返り ・アンケート結果より ・M字曲線について（家庭内での協力・働き方・社会の認識） ・働き続けたいのにやめざるを得なかった理由 ・賃金格差、雇用問題・国連調査（ジェンダー不平等指数） ・他の国の例（今回はオランダ） <p>第2時：問題解決に向けて話し合い〔誰もが生き生きと生活できる社会を作るために〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の班が内閣だとしたら… ・話し合いの結果発表 どの班の案が良かったか、できそうか ・現在の日本での取り組みの紹介 例）育児休暇 男女共同参画… 外国の法律 30・20 ・授業の感想 <p>まとめ：学年通信などで</p>
資料	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業案（第1時） ② 授業案（第2時） ③ 資料1：意識調査 ④ 資料2：M字曲線を逆U字曲線に！ _____班が内閣だったら ⑤ 資料3：学年通信
備考	学校の実態に合わせて変えてください

①授業案（第1時）

- 1 お金
- 2 社会・人につながる
- 3 自分の成長

みなさんは、1ヶ月ほど前、職場体験学習をしました。
事業所によって体験内容が違ったりしましたが、考え方が変わるような体験をした人もいます。

一人紹介します。＜感想文を読む。保育所の子どもたちが生き生きとしていたというような。＞

大人になったらみんな働きます。
なので、2時間かけて「労働」について今までとは別の角度から学習します。

まず、なぜ働くのか。復習です。

① **お金**のため

生きていくには、お金はとっても大切です。だからボランティアと労働は基本的に違います。ただし、家事労働はお金になりません。だから、過去にはお金にならない家事労働のみをする専業主婦の地位が家庭の中でも社会の中でも低かった歴史があります。今はどうでしょうか。

② **社会**とつながる、**人**とつながる

社会の役に立つ、人の役に立つ。人は一人では生きていけません。衣食住、楽しみ、遊びその他何をとっても誰かの労働のお世話になっています。逆に言うと、働くということは直接的・間接的に誰かの役に立っているということです。

③ **自分の成長**の場 やりがい

自分が人の役に立っていると実感できることは嬉しいものです。よかった。とか、ありがとう。などといわれると、「次も頑張ろう」と思いませんか。

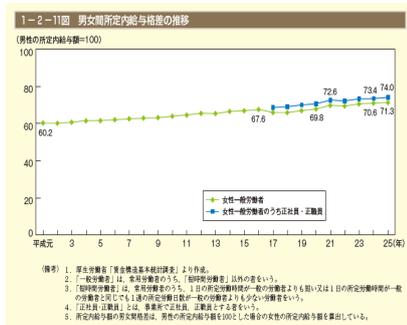
みなさんは働く人のお話を聞きました。その中でこんな話をされていた方がいました。

この仕事を選んだ理由は、動物が好き・・・ということもあるけれど、同じように勉強している男子と給料が違う時世に、ずっとやり続けられる仕事だと思って選びました。周子さん 獣医

他の職業は、同じように勉強している男子と給料が違うのでしょうか

本当に違うんですね。

(理由を考えさせてもいい。)





次にみなさんにしてもらったアンケートの結果を見てみましょう
 ・性別に関わらず、大学まで行きたいと考えている人が多いですね。

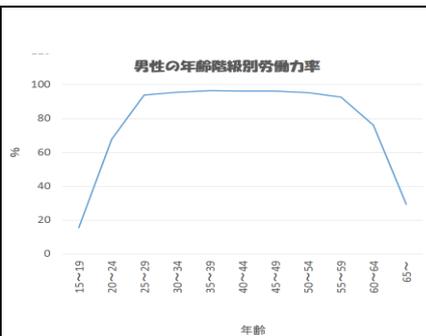
ここで、ちょっと想像してみてください。
 自分は一生懸命勉強して大学を卒業しました。まじめにしてきたおかげか、少子化で労働人口が減ったおかげか、日本が経済成長したおかげかはわかりませんが、とにかく希望の仕事につくことができました。先ほどの①お金②人・社会とのつながり③やりがいを満たすいい仕事です。さらに幸せなことに気の合う異性と出会い、誰の反対もなく結婚することになりました。しばらくして、なんと、8ヵ月後には子どもが生まれることになりました。超ハッピーです。あなたはパートナーと共に生まれてくる子どもが自分のように幸せに生きられるように育てたいと思います。

そこで・・・どうしますか。アンケート結果の2を見てください。
 男子はほとんどの人がずーっと働くみたいです。
 女子はずーっと働くのは42%。
 46%の人が育児をしなくっちゃ。と考えています。
 男は育児しないの？

<男子の誰かを当ててみてもいいかも>

ちょっと、アンケートから、みんなの考え方を見てみましょう。
 女も男もパートナーには「家庭を大切にしてほしい」と考えています。
 でも、2番目を見ると、女子は「暴力を振るわない」「仕事をまじめにする」 男子は「家事や育児をしてほしい」と考えています。

次のグラフを見てください。
 男子の49%、女子の38%が、男は仕事、女が家事・育児と考えています。でも、男女関係なく働くは、男子も40%、女子は約半分の人がありますね。

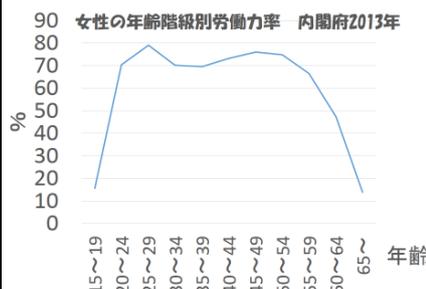


次のグラフを見てください。
 <グラフの説明>
 男子の考えとほぼ同じですね。
 これを逆U字型曲線といいます。

理由を見てみましょう
 お金、生きがいが多数を占めています

仕事を続けるorやめる理由 十一中2年男子の場合

- 子どもができるまで 子どもといたい 1人
- 定年まで・働ける間は働く
 - お金が必要 63人
 - 老後のため 8人
 - 働きたい。やりがい。生きがい 37人
 - 家族のため 8人
 - 仕事はするもの 8人
 - その他 21人
- その他 2人

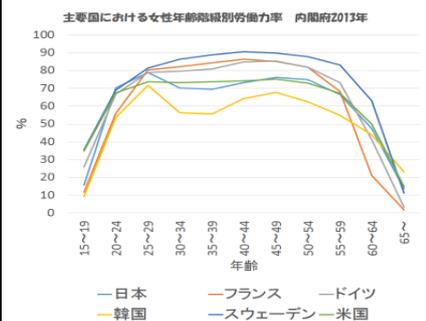


次のグラフを見てください。
 <子どもができる頃にやめて、大きくなったら働く傾向が出ている>
 これをM字曲線といいます。

女子の考え方と同じですね。
 ここでわかってほしいのは、いったんやめてしまうと、次は最初よりは①お金 ③やりがいを満たす仕事にはつきにくい。ということです。

- 仕事を続けるorやめる理由 十一中2年女子場合
- 結婚するまで 家事をする 8人
 - 子どもができるまで 育児をしたい 11人
 - 子どもができたらいったんやめて、大きくなったらまた働く
 - 働きたい。育児もしたい 20人
 - お金が必要 8人
 - その他 2人
 - 定年まで・働ける間は働く
 - 働きたい。やりがい。生きがい 38人
 - お金が必要 20人
 - 子どもが、家族のため働く 8人
 - その他 4人
- 99人(77%)**

女子はどう考えているのでしょうか。
 理由を見ていくと、8割近くの女子が、「実は働きたい。」と考えています。
 それなのにずっと働くつもりの方は半分です。
 女だって、男だって、仕事と育児両立できないのかな。



他の国ではどうなのでしょう
 M字になっているのは、日本・韓国・くらいですね。なぜこうなっているのでしょうか。
 (考えさせてもよい)
 実は 20 年位前までは、他の国も日本と同じで女性はM字型になっていました。国の政策や、国民の考え方ををえることで、逆U字型になったのです。
 女性も日本の男性のように逆U字型になっている国では、いい事が起こっています。何だと思いませんか。

(適当に言わせる)

<少子化が止まった。女性差別がなくなった。女も男余裕のある生活ができるようになった。失業率が減ったなど>

日本がM字型が解消できないのは、ジェンダー（社会的性別役割分業）の考え方も絡んでいます。

<先進的な外国の例があれば映像などで観る>

(このときは、「オランダのワークシェアリング」(0秒~10秒 と 8分33秒~最後)を観ました。)

② 授業案 (第2時)

<p>前回の復習</p> <p>「自分の班が内閣だったら」</p>	<p>I 前回の復習をさっとする。</p> <p>II <u>＜ワークシート①＞</u>を配る。 班で考える。(10分くらい)</p> <p>III <u>それぞれの班の発表。</u> キーワード * 保育所 * 労働時間 * (ジェンダー) 意識を変える * 男性の家事・育児参加 * 女性の登用 など</p> <p>IV <u>クラスで、どれを採用するか決める。(もちろん、複数可)</u></p> <p>V 時間が余れば豊中市の政策をみってみる。</p> <p>VI <u>最後の3分で感想を書ければ・・・。</u></p>
-----------------------------------	---

③ 資料1：意識調査

「労働について」学習をします。それにむけて、意識調査をします。
ぼんやりと考えていることでもいいので、率直に教えてください。

1 自分は（ 女 男 その他 ）です。どれかに○をつけて下さい。

2 学校はどこまで行こうと思っっていますか。記号に○をつけて下さい。

- ア 中学校まで イ 高校まで ウ 専門学校まで
エ 短大まで オ 大学まで カ 大学院まで

3 将来結婚して子どもができるとしたら、いつまで働きますか。記号に○をつけて下さい。

- ア 結婚するまで イ 子どもができるまで
ウ 子どもができたらいったんやめて、大きくなったらまた働く
エ 定年まで オ 働ける間は働く カ その他（ ）

それはなぜですか。

4 パートナーに求めることは何ですか。2つまで○をしてください。

- ア 家庭を大切にすること イ 暴力をふるわない ウ 収入が高い
エ 育児をする オ 仕事をまじめにする カ 家事をする

5 女と男の働き方についてどう思っっていますか。1つだけ○をしてください。

- ア 男女関係なく共に働き生活する
イ 男性は仕事、女性は家事・育児などを優先する
ウ 女性は仕事、男性は家事・育児などを優先する
エ どちらかが働けばよい
オ その他（ ）

④ 資料 2 : M字曲線を逆U字曲線に！ _____班が内閣だったら

M字曲線を逆U字曲線に！ _____班が内閣だったら。2年 組

大臣名

突然ですが、あなたの班が日本の内閣になりました。すでに国連から、日本の男女格差を是正しなさいとの勧告が出されています。M字曲線を欧米諸国並みの逆U字曲線にするために、早急に手を打たないと、あなたの内閣の面目は丸つぶれです。それでなくても日本のM字曲線を何とかしなければ、少子化が進む一方で、このままでは日本という国がなくなってしまうそうです。そこで、女も男も自分の夢をかなえる生き方をできるような政策を考えてください。

政策名	
目的	
具体的なプラン	

政策名	
目的	
具体的なプラン	

⑤ 資料 3 : 学年通信

豊中市立第○中学校 ●○期生●

2年 学年通信

もし、私の班が内閣になったら・・・

2年のみなさんにミッションが下されました。

突然ですが、あなたの班が日本の内閣になりました。すでに国連から、日本の男女格差を是正しなさいとの勧告が出されています。M字曲線を欧米諸国並みの逆U字曲線にするために、早急に手を打たないと、あなたの内閣の面目は丸つぶれです。それでなくても日本のM字曲線を何とかしなければ、少子化が進む一方で、このままでは日本という国がなくなってしまうそうです。そこで、女も男も自分の夢をかなえる生き方をできるような政策を考えてください。

なかなかいい政策ができたので、いくつか紹介します。

男女共通賃金政策

＜男女の給料を同じにする＞

- 使われないような道路を作らない。
- 保育園や幼稚園をたくさん作る

ベビーファースト政策

＜子どもを育てやすくするため＞

- 幼児を預ける施設をもっとたくさん作る
- 幼稚園までの子どもを持つ親（男女）は労働時間を減らす

レディーファースト政策

＜女性の雇用を多くするため＞

- 労働時間を変える（男女の差をなくす。そのために働く時間によって給料を比例させるなど）
- もし結婚や出産で辞めてしまっても、もう一度会社に復帰することができる（復帰してきた時のために仕事をあらかじめ決めておく）

男女金平等政策

＜女性の働く意欲をあおっていくため＞

- 男女の金の差をなくす
- 授業を男女で区別しない（体育は除く）

大和撫子復活大作戦！

＜男女平等＞

- 企業内の管理職の5割を女性に当てることを法令化
- 授業を男女で区別しない（体育は除く）
- 保育施設の増加（個人経営以外の会社内に、保育施設の設置を義務付ける）♡

イクメン 増加計画っっ

＜労働時間の短縮＞

- 労働時間を短縮することによって男女ともに家事・育児のしやすい環境を整える。
- 企業を税金面で優遇する

育児 in the カンパニー

＜育児と働く事を両立させる＞

- 会社の中に育児施設を作る（離乳食もある）
- 昼休みに子どもと遊んだりお世話したりできる
- 男女当番制。昼休みは子どもと！
- 幼児が遊べるところを作る

OTA 革命

<女性が仕事しやすいために>

- ・消費税3%
- ・大学まで義務教育
- ・職場に保育所

O…穏やかに生活のできる会社

T…楽しく育児ができる環境

A…明るい未来のために！

総理大臣女性にしちゃうぞ

<女性から視点を取り入れ、女性の地位を高めるため>

- ・選挙で女性の総理大臣を選ぶ
- ・内閣にも女性の議員を取り入れ、男女両方の意見を聞く
- ・一般からも立候補しやすくする

一週間夫婦交代制度

<仕事と家事を両立できるようにする>

- ・夫が仕事に行っている週もあつたら、妻は家で家事をし、次の週は交代

保育園と保育士増量政策

<保育園に子どもを預けられるようにして、女性の働ける時間を増やす>

- ・保育士の免許を取ることをおすすめする。
- ・就職先が保育園じゃなくても有利になる
- ・国が支えに→年金にまわっているお金を少しこっちにまわす。

男の人も育児休暇政策

<女の人も男の人も両方に育児休暇があれば両方が早く会社に復帰できる>

- ・女性が子どもを産んだ後も働き続けられるように保育所や学童保育を増やす
- ・男の人も家事や育児を手伝い、女の人と協力しながら子どもと一緒に遊べるようにする

いろいろな、楽しい、いい政策が考えられています。

ある卒業生(男子)との話。「子どもはほしいけど、養っていただくだけの給料を稼ぐのもしんどいから、結婚考えるな…。」ちょっと待った。「一人で生活費全部稼ぐ。と思わんと、二人で仕事も育児もしたらいいやん」と言うと、「あ、そーか」という返事が返ってきました。

「働きたいけど子どもが…」「両立が難しそう」と考えている女子。「自分ひとりで生活費を稼ぐのは大変。仕事を取ったら育児は任せるしかない」と考えている男子。ちょっと考え方を変えてみませんか。「女だから」「男だから」と我慢するのではなく、女も男も、働くことと子育て、両方選べる社会になったらいいね。という提案でした。

ただ、勘違いしてほしくないのは、自分**個人の生きかた**として子どもをつくらない。結婚しない。あるいは一人で働いて育てる(もちろん保育所なども利用しながら)という選択も**あり**ということです。中2には難しいかもしれないけど、大切なことなので覚えておいて下さいね。